

四日市市政記者クラブ各位

令和7年 8 月21日 四日市市記者発表資料	
問い合わせ先	
四日市市 教育委員会 博物館	
担当者	川端
電 話	059-355-2702
E メール	hakubutsukan@city.yokkaichi.mie.jp

記者発表資料 特集展示「没後 20 年 丹羽文雄と手紙」開催のお知らせ

当館では、9月9日(火)から 10月26日(日)まで、特集展示「没後 20 年 丹羽文雄と手紙」を開催いたします。

◆展覧会名

特集展示「没後 20 年 丹羽文雄と手紙」

◆会期

令和7年9月9日(火)～10月 26日(日)

休館日:毎週月曜日（祝休日の場合は翌平日）

開館時間:午前 9 時 30 分から午後 5 時

◆会場

そらんぼ四日市(四日市市立博物館) 3階 展覧処^{はくりてい}「白里亭」(常設展「時空街道」内)

〒510-0075 四日市市安島一丁目 3 番 16 号

Tel059-355-2700

◆観覧料

無料

◆主催

四日市市立博物館

◆開催趣旨

四日市市出身で昭和を代表する作家・丹羽文雄(明治37[1904]年-平成17[2005]年)は、本年4月20日に没後20年を迎えました。

丹羽文雄は、四日市市浜田にある真宗高田派^{ぶつぽうざんそうけんじ}佛法山崇顕寺の長男として生まれました。早稲田大学文学部を卒業後、四日市に戻ってきますが、作家になる想いを断ちがたく、生母をモデルとした「鮎」の好評を機に、昭和 7(1932)年、家出のかたちで再び上京します。昭和 10 年代(1935-1944)以降、半世紀にわたって数々の作品を発表しながら、芥川賞や読売文学賞をはじめとする各種文学賞の選考委員も務めるなど、常に第一線の作家として活躍しました。また、同人雑誌「文学者」を主宰し、若手作家が作品を発表できる場をつくり、作家を目指す者には自宅の応接間で相談に応じるなど、後進の育成にも努めました。

今回の特集展示では、丹羽文雄が四日市を発つ日に残していった手紙や、交流のあった作家そして家族から受け取った手紙、そのほか関連資料など約 10 点を展示し、手紙のなかにつづられた文章や言葉から、丹羽文雄の人物像の一端をひも解きます。本展を通じて、没後 20 年という節目の年に、丹羽文雄を知っていただく機会になりますと幸いです。

◆関連行事

①オリジナル封筒と便箋を作ろう(事前申込制)

日時:9 月 27 日(土)10:00~12:00

場所:そらんぼ四日市(四日市市立博物館) 1 階 講座室

対象:小学 3 年生~中学生

定員:25 人(応募多数の場合抽選)

参加費:300 円

②丹羽文雄没後 20 年特別企画 記念講演会(事前申込制)

日時:10 月 19 日(日)14:00~15:30

場所:そらんぼ四日市(四日市市立博物館) 1 階 講座室

講師:丹羽多聞アンドリウ氏(プロデューサー、近畿大学客員教授、前 BS-TBS エグゼクティブ局長、丹羽文雄の孫)

対象:一般(高校生以上)

定員:50 人(応募多数の場合抽選)

参加費:無料

※事前申込制のイベントの申込方法

開催日の1カ月前から 10 日前(必着)までに、申込フォームまたはハガキで、イベント名・名前(ふりがな)・電話番号・メールアドレスをご記入のうえ下記へお送りください。応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

申込フォーム:右の QR コードまたは当館ホームページ「イベントのお申し込み」より

ハガキ:〒510-0075 四日市市安島 1-3-16 四日市市立博物館 企画普及係

